

教科	家庭	科目	保育基礎	開講学期	後期	単位数	2	試験	後期
タイプ	Ⅳ	レポート数	6	スクーリング必要時数		4	スクーリング実施時数		10

教科書(発行者)	保育基礎(教育図書)
補助教材(発行者)	

科目の目標	家庭の生活に関する産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
	1 知識及び技能 保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。	2 思考、判断、表現等 子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	3 学びに向かう力、人間性等 子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の観点及びその趣旨	1 知識・技能 乳幼児期の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について理解を深め、子供の発達に応じて適切に関わる為の技能を身につけている。 子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び子供の福祉について理解を深めている。	2 思考・判断・表現 子供の健やかな発達を支えるために、子供との適切な関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	3 主体的に学習に取り組む態度 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供との関わりと保育・福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善しようとして、地域社会に参画しようとする。

単位認定	全レポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。
評価の方法	評価はレポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。

学期	レポート	学習内容	スクーリング	試験
後期	第1回	子どもの保育	第1回	後期
	第2回	子どもの発達 子どもの生活	第2・3回	
	第3回	子どもの発達 子どもの生活	第4・5回	
	第4回	子どもの発達 子どもの生活	第6・7回	
	第5回	子どもの福祉	第7・8回	
	第6回	子どもの安全	第9・10回	